

受理年月日	令和3年6月18日	所管委員会	福祉都市委員会
番号	3年陳情第9号		
件名	須崎公園の再開発による大木伐採の中止について		
陳情者	中央区天神五丁目1-15-703 須崎公園の大木を守る会 共同代表 初島 さつき 外 3,101人		
分割送付	経済振興委員会（3年第10号）		
要旨	<p>3月は桜並木、4月から5月は輝くばかりの新緑、夏は葉を茂らせた大木の間を抜ける風が都市の汚れた空気を浄化し、木陰が人々に憩いの場を提供してくれる須崎公園は、中央区では数少ない自然環境を維持する貴重な存在ですが、新たに建設される新市民会館と駐車場工事のために、樹齢50～60年の大木約70本を含む400本の木々は3分の2以上が伐採されることになっています。また、コロナ禍を理由に十分な住民説明会は6月末まで開かれないうまま、工事準備が7月には始まろうとしています。</p> <p>市は平成21年に策定した福岡市新・緑の基本計画の中で、「福岡が持続的に発展していくためには、福岡の持つ特性を活かしつつ、経済性、効率性優先だけではない都市づくりを進め、「都市の中に緑を創る」という発想から転換した「緑の中に都市がある」姿を目指さなければなりません」と語っています。</p> <p>このすばらしい理念を掲げる市は、市民の財産でもあり、公園ができてから70年にもなっってすばらしい大木に成長した緑の大木を一本でも多く保存し、残す方向で検討してください。</p> <p>現在、大多数の市民はもちろん、近隣の住民でさえも公園整備の内容を十分理解しているとは言えない状態で、須崎公園の大木を守る会のSNS発信で多くの市民から驚きと反対の声が集まっています。樹木伐採反対の声は根強く、経過を知らされずいきなり目の前の木が伐採されれば、強い反発を持つ市民は大勢いるでしょう。</p> <p>よって、市議会で緑保全のために尽力するよう求め、以下の事項について陳情します。</p> <p>1. 建設予定地以外の工事車両、搬入口などのために、住民が慣れ親しんで愛してきた樹齢50～60年の大木を安易に伐採しないこと。新たな植樹では補えない年輪を経た大木の存在感と役割を生かした緑の須崎公園維持のために、事業者には高い技術と工夫で、半分（150本）以上の大木を残し、それでも、どうしても残せない樹木については、シンボルツリー的な存在感のある木や、保存樹の条件を満たす15メートルに届くような樹高の樹木は、移植により保存すること。</p>		



福岡市議会議員 阿部 真之助 様

2021年6月18日

「須崎公園の大木を守る会」共同代表 初島さよ 福岡市中央区天神5-1-15-703

井上礼子 福岡市中央区天神5-1-15-705

外 ~~105~~名
2,100

趣旨

3月は桜並木、4月～5月は輝くばかりの新緑、夏は葉を茂らせた大木の間をぬける風が都市の汚れた空気を浄化し木陰が人々に憩いの場を提供してくれる須崎公園は、中央区では数少ない自然環境を維持する貴重な存在ですが、新たに建設される新市民会館と駐車場工事のために、樹齢50～60年の大木約70本を含む400本の木々は3分の2以上が伐採されることになっています。また、コロナ禍を理由に十分な住民説明会は今月6月末まで開かれないまま、工事準備が7月には始まろうとしています。

福岡市は平成21年に策定した「新・緑の基本計画」の中で、「福岡が持続的に発展していくためには、福岡の持つ特性を生かしつつ、経済性、効率優先だけではない都市づくりを進め、「都市の中に緑を創る」という発想から転換した「緑の中に都市がある」姿を目指さなければなりません。」と語っています。

この素晴らしい理念を掲げる福岡市は、市民の財産でもあり公園が出来てから70年にもなって素晴らしい大木に成長した「緑の」大木を一本でも多く保存し残す方向で検討して頂くよう陳情します。

現在、大多数の市民はもちろん、近隣の住民でさえも公園整備の内容を十分理解しているとは言えない状態で、「須崎公園の大木を守る会」のSNS発信で多くの市民から驚きと反対の声が集まっています。樹木伐採反対の声は根強く、経過を知らされずいきなり目の前の木が伐採されれば、強い反発を持つ市民はかなり大勢いるでしょう。市議会で緑保全のためにご尽力いただきますようお願い致します。

事項

- 1, 建設予定地以外の、工事車両、搬入口などの為に、住民が慣れ親しんで愛してきた樹齢50～60年の大木を安易に伐採しないでください。新たな植樹では補えない年輪を経た大木の存在感と役割を活かした緑の須崎公園維持の為に、事業者には高い技術と工夫で、半分（150本）以上の大木を残していただき、それでもどうしても残せない樹木についてはシンボルツリー的な存在感のある木や、保存樹の条件を満たす15mに届くような樹高の樹木は移植による保存を求めます。
- 2, 工事計画では、7月上旬に準備に入り仮囲いで公園を覆ってしまい中には立ち入れない状態になりますが、工事予定だけ先行して進めるやり方では、住民は市に対して不信感を抱くことになりかねないばかりか、気持ち良く工事への協力ができるとは思えません。まず樹木の問題も含め整備の内容、工事詳細を十分説明し、周知の期間をしっかりと設けた上で住民への複数回の説明会の開催を求めます。